

支部だより

Newsletter No.59

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会
中部支部
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番9号
(太陽生命名古屋第2ビル8F)
TEL.052-971-5310

道の駅 おばあちゃん市・山岡

迎春



目次

支部長 新年挨拶	1
幹事長 新年挨拶	1
中部地方整備局長 新年挨拶	2
第74回 日本道路建設業協会 中部支部 定時総会・役員・委員会紹介	3
中部地方整備局・県・政令市との意見交換会(本部)	4
ネクスコ中日本(株)との意見交換会	5
中部地方整備局実務者との意見交換会(支部)	5
サクラだより	6
アスファルト舗装技術に関する講習会	8
舗装施工管理技術者講習会	8
道路建設技術講演会	8
コンプライアンス講習会(独占禁止法の遵守講習会)	9
建設技術フェア2022in中部(学生ひろば)	9
ICT舗装工事現場見学会(新城)	9
i-Construction技術講習会	9
安全パトロール(安全委員会)	10
中部緊急防災隊式典	10
中部緊急防災協会 2022年度 通常総会・役員・地区事務局紹介	11
防災訓練	11
日本道路協会 道路功労者表彰伝達式・研修関係功労者感謝状贈呈式	12
令和4年度 道の駅 小型発電機の贈呈	12
会員だより・編集後記	13
各地でイベント開催	

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
県道 33号

おばあちゃん市・山岡

路線名	県道33号
営業時間	9:00～17:00(3月～10月土日祝は18:00まで営業)
駐車台数	大型車6台、普通車55台
休館日	年末年始12月29日～1月1日

駅長からのメッセージ

自然の恵み豊かな岐阜県恵那市にあります。ここには巨大木製水車や小里川ダムなど、観光スポット満載! 手づくりの美味しいグルメや雑貨も魅力のひとつです。他にも四季折々に合わせた楽しいイベントも開催中! 笑顔あふれるおばあちゃんが出迎えてくれる憩いの地で“道の駅 おばあちゃん市・山岡”をぜひ堪能してください。



ここがポイント!

おばあちゃんたちが丹精込めて作った新鮮野菜・農産加工品、山岡町特産の細寒天の販売、全国の道の駅の交流品なども取り扱っています。里山に囲まれた日本一の水車や、與運橋(石積みアーチ橋)、芝生公園もありみなさんで楽しめますよ! 素朴ですがおいしいものがいっぱいです。

新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。会員各社の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり御挨拶申し上げます。

2020年初めから我々の生活に大きく影響を与えている新型コロナウイルスは、今日に至るまでの間に変異を重ね、未だ終息したとは言えない状況です。しかし、最近になり、徐々にではありますが、ウィズコロナに向けた新たな段階へ移行しつつあり、国内においても社会・経済活動に活気がよみがえりつつあるように感じております。

しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による半導体不足により、サプライチェーンは大きく影響を受け、また、昨年2月にはロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー不足や食糧不安により、様々な商品の価格が上昇し家計に厳しい影響を受けておりますが、企業活動においても、円安の影響を更に受けて資材価格が高騰し、大変厳しい状況となっております。特に原油価格の高騰は、我々道路建設業の事業活動に大きな影響を与え、今後しばらくは厳しい状況が続くものと予想されます。

また、昨年も国内の自然災害が頻発し、特に7月から8月には、全国各地で線状降水帯による記録的豪雨による災害が発生した年でもありましたが、その時々、「地域の守り手」といわれる各地の建設業者の方々による迅速な対応により、社会インフラが次々に復旧されていく状況を見ることとなりました。

我々道路建設業は、人々の日常生活や経済活動の大動脈と言える道路の建設、維持、修繕業務を担っておりますが、地震・台風・大雨等による自然災害の発生時には、その復旧作業にあたり住民の皆様の生活を支えるうえで不可欠な存在となっております。そのため、衰退させるわけにはいかない産業であることを自覚し、次世代の担い手確保のために、当

協会では週休二日の実現などの働き方改革やi-Construction事業の推進等による生産性向上に向けた取組みを継続し、展開してまいりますので、引続きの御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

2023年の干支「癸（みずのと）卯（う）」は、「これまでの努力が実を結び、兔のように勢いよく成長し、飛躍するような年」となるといわれております。会員各社様がこれまで御尽力されてきたことが花開き益々発展されますこと、また、関係者の皆様の御健勝と更なる御活躍、そして、多くに方々にとって素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



支部長 森 俊二
(大林道路株式会社中部支店 常務執行役員支店長)



新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様には幸多き新春を迎えられお喜びを申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年はコロナウィルスの拡大が収まらない中でのロシアのウクライナ侵攻、原油高によるエネルギー価格の高騰、円安による輸入原材料の高騰など経済の先行きが不透明な一年となりました。そうした状況の中、支部活動行事は縮小、中止することもなく総会、中部地方整備局、NEXCO中日本との意見交換会、道路建設技術講演会など対面での行事も予定通り行いました。

公共工事の予算は、「防災・減災、国土協実感のための5か年加速対策」「補正予算」により道路ネットワーク整備、防災・減災対策、老朽化対策等の整備が一層進められ引き続き整備が推進されることとなりました。

また脱炭素社会へ号砲が放たれ産業、社会構造の大転換を向かえています。

私たちは社会の期待に応えるべく業界発展のために、働き方改革の推進と企業の成長の両立を目指し、生産性の向上、業務の効率化、ITの活用、健全な労働時間、担い手の確保などさまざまな取組みを継続かつ積極的に推し進め、加えて、SDGs、ESG、脱炭素への取組みを社会の取組みとして対応していかなければなりません。CCUSの活用、週休2日の確保等に取り組み魅力ある業界に向けて様々な取組みが計画実施されています。世の中の改革に遅れることなく、会員の皆様とともに情報を共有し課題に取り組んで行きたいと思っております。

2023年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」また、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

新しいことに挑戦するのに最適な年とされています。

今年一年、皆様ご協力のもと道路建設業協会が「飛躍」「向上」する年となるように精進して参ります。最後になりましたが、会員各社様にとりまして、2023年が幸多き一年でありますことを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

幹事長 山縣 裕
(NIPPO株式会社中部支店 執行役員支店長)



新年 挨拶



国土交通省
中部地方整備局長
稲田 雅裕

令和5年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一般社団法人日本道路建設業協会中部支部の皆様におかれましては、日頃より中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

中部地方整備局では、自然災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症を契機としたデジタル化の急速な進展など、社会経済情勢に対応したインフラ整備や公共サービスの提供を行い、建設現場の生産性向上、働き方改革を進めるため、インフラ分野のDXなど様々な取り組みを行っているところです。

また、激甚化する災害への対策や予防保全に向けた取り組みでは老朽化対策の加速、防災・減災、国土強靱化を引き続き強力に進めていくとともに、地域経済を支えるインフラ整備として、令和8年度全線開通を目指す、東海環状自動車道をはじめとする広域道路ネットワークの整備等推進してまいります。

大規模災害リスクへの対応や巨大な産業活動を支えるためには、社会資本の担い手・守り手として、

社会資本整備の現場に精通されている皆様方の高い技術力と経験、そして気概と活力が何よりも必要です。

建設業の重要性を再認識して頂くとともに、建設産業の担い手確保に向けた取り組みとして建設業の「新3K(給与・休暇・希望)」の実現を全力で取り組むなど、環境を整えてまいります。

結びに、貴協会のますますのご発展と会員皆様のより一層のご活躍を祈念いたしまして、念頭の挨拶とさせていただきます。



第74回 日本道路建設業協会 中部支部 定時総会

日本道路建設業協会中部支部は5月27日、メルパルク名古屋で第74回定時総会を開き、2021年度事業報告・決算を可決承認し、2022年度の事業計画と収支予算などを報告しました。

2022年度の事業計画には、行政との意見交換会や働き方改革の推進、社会貢献活動の実施、講習会、防災訓練の実施セミナー開催などを盛り込みました。

また、森支部長(大林道路常務執行役員中部支店長)、山縣幹事長(NIPPO執行役員中部支店長)が再任されました。

総会での挨拶で森支部長は、『社会資本整備を通じ地域社会の発展を支え、災害時に安全・安心を確保することが使命であり、われわれに対する期待は大きい。担い手確保や処遇改善など課題は多いが、働き方改革や生産性向上を推進し、会員企業がより発展するよう取り組んでいきたい』と抱負を語りました。

議事修了後、本部役員出席のもと、協会表彰式が行われ、技能功労者及び支部委員会委員に西田会長から表彰状が授与されました。



■支部役員

役 員	氏 名	会 社 名	役 職
支部長	森 俊二	大林道路(株) 中部支店	常務執行役員支店長
幹事長	山縣 裕	(株)NIPPO 中部支店	執行役員支店長
幹 事	糸川和孝	鹿島道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	國島太佳生	(株)市川工務店	常 務 取 締 役
〃	櫻井 真	福田道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	高畑一幸	(株)佐藤渡辺 中部支店	執行役員支店長
〃	中川雄一	日本道路(株) 中部支店	支 店 長
〃	中野谷眞己	大有建設(株)	取締役常務執行役員建設事業本部長
〃	難波陽一	中部土木(株)	代表取締役社長
〃	秦 純二	朝日土木(株)	代表取締役会長
〃	平井美次	中村建設(株)	常 務 取 締 役
〃	淵上 修	(株)ガイアート 中部支店	執行役員支店長
〃	松居 広	岐建(株)	常務取締役名古屋支店長
〃	松本辰男	世紀東急工業(株) 名古屋支店	執行役員支店長
〃	峯崎賢司	前田道路(株) 中部支店	支 店 長
〃	両角勝夫	大成ロテック(株) 中部支社	執行役員支社長
〃	吉田和博	東亜道路工業(株) 中部支社	執行役員支社長
会計監事	梶原謙彰	三井住建道路(株) 中部支店	理 事 支 店 長
〃	住友哲也	花菱建設(株)	代表取締役社長
顧問	尾出 清	(株)NIPPO 中部支店	参 事

■委員会:委員長・副委員長

委員会名	委員長	副委員長
企画運営委員会	森 俊二	山縣 裕
作業部会	尾出 清	渡邊光吉
働き方改革実行委員会	高畑一幸	中川雄一
建設コスト委員会	山縣 裕	帶川靖洋 両角勝夫
環境委員会	峯崎賢司	櫻井 真
技術委員会	吉田和博	糸川和孝
安全委員会	淵上 修	高畑一幸
広報委員会	松本辰男	中川雄一
防災委員会	森 俊二	山縣 裕



中部地方整備局・県・政令市との意見交換会(本部)



支部総会に先立ち、中部地方整備局、岐阜、静岡、愛知、三重の4県及び静岡市、浜松市、名古屋市の3政令市と日本道路建設業協会の意見交換会をメルパルク名古屋で開催しました。中部地方整備局からは堀田局長をはじめ10名、4県・3政令市からは7名、道建協本部から西田会長をはじめ9名、中部支部から森支部長をはじめ17名が出席しました。

冒頭の西田会長の挨拶では、減災、国土強靱化のために5か年加速化対策や労務単価引き上げに触れ「今後の道路の維持管理、更新を確実に進めるためにも予算の安定的、継続的確保が重要。建設技能労働者の処遇改善や担い手確保のためにも労務単価の引き上げは不可欠。建設キャリアアップシステム(CCUS)も積極的に活用し、道路建設業全体で担い手確保に努めたい」と挨拶するとともに、3か年計画で進めていた道の駅への発電機の寄贈活動について協力していただき中部地区ではすべて完了することができたと感謝の言葉を述べました。

続いて、堀田中部地方整備局長からは、成長と分配の実現へ、賃上げ企業の評価に加え成長もしっかり取り組む。働き方改革では効率化や省力化を進めるためにもDXを推進し、週休2日や平準化など県や市町村にも波及させる。カーボンニュートラルなど新たな

施策も推進していきたい」と挨拶されました。

意見交換会では、公共工事予算の安定的・持続的な確保、道路舗装工事における労働環境の改善、道路舗装工事におけるi-Pavementと新技術開発の推進と普及、入札・契約制度の改善、工事積算の改善、道路舗装のメンテナンスサイクルの確立、道路空間の環境改善をテーマに要望を行いました。適正な工期の設定、工事発注準備段階の適切な関係者調整の実施、年間を通じた工事の平準化、書類の簡素化・合理化の推進、工事現場における新型コロナウイルスの感染拡大防止については、4県と3政令市からも回答を頂きました。



ネクスコ中日本(株)との意見交換会

中日本高速道路(株)名古屋支社との意見交換会を9月16日ネクスコ支社会議室で開催しました。昨年はコロナウィルスの影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

中日本高速道路(株)名古屋支社からは、水門環境・技術管理部長、山崎建設事業部長、末吉保全・サービス事業部長他4名、道建協支部から森支部長、山縣幹事長他6名が出席しました。

意見交換会の議題については、現場の生の声を伝えるべくアンケート調査を行って決定しました。

当支部からは集中工事、建設工事での関連工事

からの引渡し遅延等、業務用通行証、及び積算に関する問題点、働き方改革について各々課題を提示し、要望を行いました。集中工事については施工内容、規模等により平準化に努めた発注計画を立てている、建設工事での関連工事からの引渡しについて舗装は最後の部分なのでしわ寄せがないようにしていきたい等の回答がありました。

中日本高速道路(株)名古屋支社からは、幅広い話題について活発な意見交換ができた。今後も事務レベルの意見交換を継続してネクスコ、道建協会員の双方の発展に繋げていきたいと挨拶があり終了しました。



中部地方整備局実務者との意見交換会(支部)

中部地方整備局と日本道路建設業協会中部支部との意見交換会を11月24日に桜華会館で開催しました。

中部地方整備局からは川上技術調整管理官をはじめ11名、中部支部から森支部長をはじめ17名が出席し整備局の実務者と活発な意見交換を行いました。

意見交換会では、公共工事予算の安定的・持続的な確保及び舗装工事の発注件数の継続的な確保、アスファルト合材価格高騰に対応したスライド条項の運用、技術者の有効配置のための入札から落札決定までの期間短縮、週休二日制を定着させるための労務費の一層の見直し、コンクリート舗装工事の設計・積算の見直し、CO2削減に資する中温化合物の積極的採用、電線共同溝工事の推進等について要望を行いました。

中部地方整備局からは、中部ブロックでは新たに7事業の開通見通しを公表するとともに、5か年の具体的な事業進捗見込み等も示し計画的な事業執行に取り組んでいる、スライド条項の運用については業界向けの単品スライドの運用ルール改定の説明

をしマニュアルやQ&Aをホームページで公表している、入札から落札決定までの期間短縮については事前に工事施工内容確認資料を提出していただきその記載内容を事前確認することでヒアリングに代えるなど手続期間短縮の取組みを実施している、労務単価の一層の見直しについては頂いた要望は本省に伝える、中温化合物については実証実験を行い全国的な技術基準・要領等があれば採用していきたい、コンクリート舗装についてはセメント単価は現地着単価で設定している、電線共同溝工事については引込・連系設備との同時施工などによりスピードアップに取り組んでいる等と回答がありました。



サクラだより

SAKURA DAYORI

取材班 メンバー 紹介

上田千秀緑 大林道路株式会社 中部支店
尾崎由美子 株式会社佐藤渡辺 中部支店
原 夕 子 株式会社NIPPO 中部支店
畔 地 真 美 日本道路株式会社 中部支店
渡 邊 麻 香 (一社)日本道路建設業協会 中部支部

今回お邪魔した現場は 株式会社佐藤渡辺 三遠道路3号トンネル新城地区舗装工事事務所 です。

サクラ前線 ～前線で輝く女性のリアルな姿をご紹介します～



おおにし まい
大西 舞依 さん

PROFILE

現在の仕事内容

現在入社2年目。
三河営業所管轄「三遠道路3号トンネル新城地区舗装工事」にて施工管理を担当。



ぶない さき
武内 咲季 さん

PROFILE

現在の仕事内容

現在入社3年目。
幸田合材工場にて品質管理を担当。

この仕事を選んだきっかけ

前職で「舗装」に触れ、興味を持ちました。当時の下請業者さんに話を聞いているうちに次は舗装工事をやってみたい!という気持ちが芽生えました。

この業界については何も知りませんでしたが、ちょうど転職を考えていた時期に友人にこの会社のことを教えてもらい、当時の工場長にスカウトされ入社を決めました。

将来のビジョン

将来は一人で現場を担当させてもらえるようになりたいです。今は2級土木の資格取得に向けて勉強も頑張っています。

工場内の仕事を一通り経験してみたいです。各部署での経験を活かすことができれば、より良い職場環境を作ることができると思います。

休日の過ごし方&マイブーム

休みの日はオンラインゲームをして過ごしています。ゲーム仲間や弟と一緒に遊ぶこともあります。最近では圧力鍋を買いました! 平日の作り置き用にとっても便利で重宝しています。



プロレスが好きなので休日は動画サイトでプロレスを見て過ごしています。今度試合を見に行くので、グッズのタオルを買おうか悩んでいます… ネイルも資格をとるほどハマっていて、自分で可愛いネイルをすることでテンションも上がるので、それが仕事のモチベーションにもつながっています。

みちサクラさんへ

～メッセージをいただきました～



園田 所長

この業界は、長年『危険・汚い・きつい』3Kに加え、『給料安い・休暇が取れない・環境が悪い』と言われ、少子高齢化の影響もあり担い手不足が大きな問題になっています。この問題を回避するため『危険回避・キレイ・給料が良い・休暇が多い・環境が良い』など、職場環境の改善が必要になります。このためにも、女性の目線から現場を見て頂き、職場環境を改善して行きたいと思えます。また、産休や育休の面でもしっかり体制を整え、女性が長く働ける職場にしたいので、これからもよろしくお願いします。

気配りができ、清潔感も有る武内さんは、お客様からの評判も良く、彼女ならではのコミュニケーション能力と笑顔が明るい職場環境につながっていると感じています。

この業界ではまだ男性が活躍するイメージが強いので、武内さんにはこれから入ってくる女性のためにも、より働きやすい職場作りに積極的に取り組んでほしいと思います。

まだ慣れないことも多いと思いますが、新しい発見に日々刺激を受けながら、楽しく頑張ってください。



仲田 工場長

教えて!

みちサクラさん ～気になるアレコレをズバリきいてみました～



Q. 実際に働いてみてどうですか?

A. (大西)「舗装」＝表面の施工というイメージを持っていたので現場で実際に工事を見て奥の深さを実感しています。

(武内) 知識が全くない状態からのスタートだったので毎日が新しいことの連続で大変ですが、わからないなりに頭をフル回転させ「働いている!」と実感できています。できないことができるようになると嬉しいですし、毎日楽しいです。

Q. この仕事の
おすすめポイントは?

A. 同じ現場は一つもないので、現場ごとに新しい発見があり毎日楽しいです。専門的な知識も必要ですが、だんだんできるようになっていく達成感も日々感じられます。あとは、体を動かすので健康的でもあります!

Q. 同じ業界で働く女性へメッセージを

A. (大西) まだまだ女性が少ない業種で苦労もあるかと思いますが、女性だからこそ気にかけてくれている人がたくさんいます!一緒に頑張りましょう。

(武内) 実際力仕事もありますし体力的に大変で、専門的な知識も必要で壁にぶつかることもたくさんありますが、仲間はたくさんいます!一緒に元気に笑顔で頑張りましょう!

Q. 労働環境で改善してほしいことはありますか?

A. 特にありません。

(大西) 今の現場は大きいので、女性用トイレも更衣室も完備されていて快適に過ごせています。

(武内) 工場も新しく建替えたばかりなので、とってもキレイです。

Q. 仕事中に気を付けていることは?

A. (大西) コミュニケーションをとることは必要だと思いますが、仕事中と休憩中とのオンオフは持つようにしています。あくまでも自分は現場を監督する立場であるので、勤務中は不必要な会話は控えるように心がけています。

(武内) 試験をやっているとどうしても「堅い」イメージを持たれてしまいがちだと思いますが、なるべく明るく笑顔でコミュニケーションをとるようにしています。関わり方を人それぞれ変えることでより良い関係性を築くことができると思います。

Q. 今後現場で働く女性を増やしていくためには?

A. 身につけるものがもう少し可愛くなればいいのにな。と思います。安全靴や軍手など「男性用の女性サイズ」ではなく、身に着けてデザインが上がるようなデザイン性を持たせることで仕事のモチベーションアップにもつながりますし、この業界以外の女性からも興味を持ってもらえると思います。あとは、現場見学会だったり学生向けの説明会を増やして女性が働いている姿を見てもらうことで、よりこの業界を身近に感じてもらえるのではないかと思います。



My Favorite Item

みちサクラさん
お気に入りのアイテムを紹介!ミーファ
フレグランスUVスプレー

全身に使える日焼け止め、
とてもいい香りがします♪
(武内)

何でも入る
万能仕事用バッグ★

とにかく大容量で仕事道具を
全部詰めています!(大西)



最後に

思わぬきっかけでこの業界に入った2人のみちサクラさんでしたが、新しい経験を楽しみながら、充実した毎日を送っているようにみえました。知的好奇心旺盛な2人を見て私たちも刺激を受けました。笑顔溢れる職場の裏には彼女たちの努力と周りのサポートがありました。このサクラだよりを通じて、学歴や職務経験に捉われず活躍している女性がいることを知っていただき新たなみちサクラさんが増えることを願っております。今回取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

取材陣一同

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会・日本道路建設業協会中部支部

愛知県アスファルト合材協会と日本道路建設業協会中部支部は7月27日名古屋市のホテル名古屋ガーデンパレスで「2022年度アスファルト舗装技術に関する講習会」を開き両会員企業より150名が参加し、最新の舗装技術を学びました。

冒頭、愛知県アスファルト合材協会技術管理委員会の櫻井正典担当理事が「道路舗装業界には、地域の守り手として、国民の生活を支える基礎的インフラである道路が災害時でも機能を発揮出来るようにする使命がある。いざという時に迅速かつ確実に対応出来る態勢を持続的に維持しなければならない」と挨拶されました。

講習会は、浅井洋二中部地方整備局道路部道路管理課長から「道路をめぐる最近の話題」、余川弘至中部大学工学部都市建設工学科准教授から「宅地の液状化被害軽減に向けた取り組み」、村松亨愛知県企画課企画第二グループ主任から「SDGs（持続可能な開発目標）について」、日立建機日本顧客ソリューション本部ITソリューション推進部ICTグループ小山聡之氏から「最近のICT施工の取り組み」と題して4名の講師により行われました。



8月30日 舗装施工管理技術者講習会

日本道路建設業協会は8月30日、名古屋市内で舗装施工管理技術者を対象とした技術講習会を開催しました。中部支部会員企業などから約170人が参加しました。

冒頭のあいさつで中部支部の山縣裕幹事長は「ICT活用などによる生産性の向上に加え、就労環境の改善による賃金水準の向上や安全確保の推進は喫緊の課題だ。工事の最新技術や知識を取得し、現場で活用してほしい」と呼び掛けました。

続いて、中部地方整備局道路部の今井浩策道路情

報管理官が「道路をめぐる最近の取り組み」として防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策や道路メンテナンスなどの取組みを説明しました。続いて中村則義講師（道建協）が「舗装工事の安全対策」と「建設副産物対策」、吉武美智男講師（同）が「最近の舗装技術の動向」をテーマに講演しました。



11月10日 道路建設技術講演会

日本道路建設業協会中部支部（森 俊二支部長）は、11月10日「2022年度道路建設技術講演会」を名古屋市の東文化小劇場で開催致しました。

会員企業などから約240人が参加し、防災・減災の

取り組みや道路行政の最新情勢などを習得しました。

冒頭、森支部長は「今年も各地で自然災害が発生し、国土強靱化の重要性を再認識させられた講演を防災対策や技術力向上に役立ててほしい。」と呼び掛けました。

講演会は、道路交通情報通信システムセンターの川瀧弘之専務理事による「あらためて今、東日本大震災からの教訓を」、日本気象協会の高瀬邦夫参与が「最近の中部地方の気候、降雨状況等について」、中部地方整備局の今井浩策道路情報管理官が「道路行政の最近の話題」と題して講演しました。

閉会挨拶を、山縣幹事長が述べ講演会は終了しました。



コンプライアンス講習会(独占禁止法の遵守講習会)

日本道路建設業協会では、2017年度からコンプライアンスに関する講習会として、独占禁止法、暴力団排除等をテーマとした講習会を開催しています。

中部支部(森俊二支部長)においては、10月20日にホテル名古屋ガーデンパレスを会場に2022年度コンプライアンス講習会を開催しました。

冒頭、森支部長は「インフラ整備や災害対応など、道路建設業界の使命を果たす上でコンプライアンス(法

令順守)違反はあってはならない。こういった行為が法に抵触するのか、正しい認識を持ってもらいた。講習会で学んだことは会社を持ち帰って共有してほしい」と述べ、会員に企業倫理の確立を求めた。

続いて、公正取引協会の山田務客員研究員をお招きし、「独占禁止法の順守のために」をテーマに、独占禁止法の概要、違反行為の事例、違反に対する処分などについて講習を行い、総勢60名が受講しました。

建設技術フェア2022in中部(学生ひろば)

最新の技術や工法が一堂に会する『建設技術フェア2022in中部』が、開催地を千種区の吹上ホールから名古屋市港区のポートメッセなごや 第3展示館に移し、会場面積を大幅に拡大して10月4日・5日の2日間、開催されました。26回目の今回は建設業の抱える既存インフラの維持・整備をはじめとする、社会基盤の整備について、防災・減災の観点より、『第10回中部ライフガードTEC2022』と初の合同開催となりました。

今年のコンセプトは昨年に引き続き『建設現場のDXが未来を創る』とし、i-Constructionや防災・安全安心など5分野に過去最多の326企業・団体が出展

し、施設内の出展ブースや屋外展示会場に新技術を広報するとともに建設業界の魅力を発信しました。

当協会も「学生交流ひろば」を継続して運営し、道路業界の仕事内容、最新技術や情報、これからの展望について、建設技術を学ぶ学生の方々に直接会って説明することで、建設の仕事や技術を理解してもらえたと思います。

新型コロナウイルス感染症問題の対応を継続しての開催となりましたが、2日間で16,786人の来場者を迎え、建設技術の新しい魅力と社会資本整備の必要性を紹介できた良いイベントになりました。

10月18日 ICT舗装工事現場見学会(新城)

本部のi-Pavement推進本部では2017年度からICT舗装工事が直轄工事で導入されたことを受け、ICT舗装技術の普及のため全国各地で現場見学会を開催しています。

中部支部では中部地方整備局浜松河川国道事務所が発注した令和4年度三遠道路3号トンネル新城地区舗装工事(㈱佐藤渡辺中部支店施工)現場に10名が参加し、現地事務所でICT舗装工の講習を受け、現場の施工状況を視察しました。

最初に浜松河川国道事務所の柴田副所長から事務所の道路事業概要とDX・ICT活用事例について紹介があり、工事関係者から工事概要、ICT舗装工、MC路盤工、MC連続鉄筋コンクリート舗装工、地上型レーザースキャナーについて説明がありました。

その後、トンネル内のICT舗装工事現場を視察し、現地事務所で質疑応答をして現地見学会を終了しました。

11月16日 i-Construction技術講習会

11月16日、中部地方整備局中部技術事務所と共催で、土木技術者を対象にi-Construction技術講習会を開催しました。当支部会員企業以外からも応募があり、15名が参加しました。

講習会は、中部地方整備局からインフラDXの取組

みについて、本部技術委員から舗装の情報化施工技術について講義があり、(一社)日本測量機器工業会が地上型レーザースキャナ(ICT)を使った測量と出来形管理について座学と実習を行いました。

安全パトロール(安全委員会)

安全委員会では、国土交通省中部地方整備局及びNEXCO中日本発注工事の現場において安全点検を実施しています。安全パトロールでは、工事概要説明を受けてから安全点検を実施、最後に良好な事項と是正する事項について報告した後、全体の講評を行い安全対策の更なるレベルアップを図っています。今年度は、NEXCO発注工事において実施しています。

●第1回 令和4年5月10日(火) (参加20名)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 名二環・東名阪集中工事
工事名等 【名古屋二環】上社IC～大治南IC間(内回り)舗装補修工事 (株)NIPPO
【東名阪】中村橋他4橋舗装補修工事 鹿島道路(株)
桑名管内維持修繕業務(2022年度) 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
参加者 名古屋支社保全サービス事業部 4名
名古屋保全サービスセンター 2名
桑名保全サービスセンター 3名
中部地区高速道路保全工事安全対策協議会 安全委員 2名
日本道路建設業協会中部支部 9名



●第2回 令和4年8月30日(火) (参加17名)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 名神集中工事
工事名等 関ヶ原IC～八日市IC間舗装補修工事 前田道路(株)
彦根管内維持修繕業務(2022年度) 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
彦根管内防護柵改良工事(2021年度) (株)セイトー
参加者 名古屋支社保全サービス事業部 4名
彦根保全サービスセンター 3名
中部地区高速道路保全工事安全対策協議会 安全委員 2名
日本道路建設業協会中部支部 8名



●第3回 令和4年9月26日(月) (参加19名)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 東名高速道路集中工事
工事名等 【豊田管内】(特定更新等)豊田管内舗装補修工事(2021年度) 大林道路(株)
【名古屋管内】(特定更新等)名古屋管内舗装補修工事(2022年度) 世紀東急工業(株)
参加者 名古屋支社保全サービス事業部 2名
名古屋保全サービスセンター 4名
豊田保全サービスセンター 3名
中部地区高速道路保全工事安全対策協議会 安全委員 2名
日本道路建設業協会中部支部 8名



中部緊急防災隊式典

防災隊式典・班長会議

新型コロナウイルスの感染拡大が一旦、落ち着きを見せ始めていた7月14日に令和4年度の防災隊式典が名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスにて開催されました。

中部五県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)より隊員ら約140名が集結し、各地区の代表者と本部役員、事務局で班長会議を行った後全員のマスク着用など感染防止対策を施した中で式典が挙行されました。

冒頭で森俊二本部長が「災害協定に基づき今まで

の経験を生かした対応をとっていく。会員企業には資機材の確保・点検また連絡体制の強化を図り確実な行動をお願いしたい。」と訓示をされました。

続いて来賓の中部地方整備局高須博幸統括防災官から祝辞を頂き、日本道路建設業協会本部山本健司環境・安全委員長のメッセージを同本部沖胡伸二環境・安全委員が代読しました。最後に中野谷眞己隊長が綱領を朗読して式典は閉幕しました。

式典に続いて名古屋大学福知伸夫名誉教授が「南海トラフ地震での被害の最小化を目指して」をテーマに講演をして頂きました。

中部緊急防災協会 2022年度 通常総会

中部緊急防災隊へ名称変更

日本道路建設業協会中部支部の会員各社らで組織する中部緊急防災協会は、6月7日に通常総会を名古屋ガーデンパレスで開催し、2021年度事業活動報告・決算、2022年度事業計画・予算などが審議、承認されました。

また、日本道路建設業協会中部支部と連携し、防災体制を強化する目的で団体名称を「中部緊急防災隊」に変更しました。これに伴う役員改選で森本部長、山縣副本部長が選任されました。

■令和4年度 中部緊急防災隊〈役員〉

役 職	氏 名	会社名及役職
本 部 長	森 俊 二	大林道路(株) 中部支店 常務執行役員支店長
副 本 部 長	山 縣 裕	(株)NIPPO 中部支店 執行役員支店長
総 務 部 長	國島太佳生	(株)市川工務店 常務取締役
愛 知 隊 長	中野谷眞己	大有建設(株) 取締役常務執行役員取締役常務執行役員建設事業本部長
三 重 隊 長	秦 純 二	朝日土木(株) 代表取締役会長
静 岡 隊 長	平 井 美 次	中村建設(株) 常務取締役
長 野 隊 長	安 野 正 和	吉川建設(株) 顧問
理 事	淵 上 修	(株)ガイアート 中部支店 執行役員支店長
〃	松 居 広	岐建(株) 常務取締役名古屋支店長
〃	神 野 晋 也	昭和土木(株) 代表取締役社長
〃	松 本 辰 男	世紀東急工業(株) 名古屋支店 執行役員支店長
〃	両 角 勝 夫	大成ロテック(株) 中部支社 執行役員支社長
〃	難 波 陽 一	中部土木(株) 代表取締役社長
〃	吉 田 和 博	東亜道路工業(株) 中部支社 執行役員支社長
〃	中 井 俊 彦	中井土木(株) 代表取締役社長代表取締役社長
〃	中 川 雄 一	日本道路(株) 中部支店 支店長
〃	峯 崎 賢 司	前田道路(株) 中部支店 支店長
監 査 理 事	糸 川 和 孝	鹿島道路(株) 中部支店 執行役員支店長
〃	高 畑 一 幸	(株)佐藤渡辺 中部支店 執行役員支店長
対策委員長	坂 田 親 紀	北川ヒューテック(株) 中部支店 支店長
参 与	中 森 栄 輔	中部土木(株) 常務執行役員 工事副本部長
〃	間 宮 敏 博	世紀東急工業(株) 名古屋支店 技術部長

■中部緊急防災隊〈地区事務局〉

愛知地区 松尾潤也 大有建設(株)

岐阜地区 上田幸司 (株)市川工務店

三重地区 濱口 健 朝日土木(株)

静岡地区 三間洋幸 中村建設(株)

長野地区 清水博通 吉川建設(株)



防災訓練

3年ぶりに防災訓練実施

日本道路建設業協会中部支部の会員らで構成する中部緊急防災隊は9月1日に愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県内で防災訓練を実施しました。新型コロナウイルスの影響で2年連続実施しておらず、3年ぶりの実施となりました。

訓練は、午前8時 30分に和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生したと想定し、午前9時に日本道路建設業協会中部支部の会議室に災害対策本部を設置し、伝達訓練や実動訓練を行いました。

訓練の内容は、災害対策本部長の指示を5地区16班に伝達する確認と報告を行い、伝達を受けた各地区では、給水タンクと資機材の点検、保管状況を確認し、災害対策本部に報告し訓練を終了しました。

中部緊急防災隊は、自然災害などの緊急時に道路管理者と協力して災害時において道路路面の確保などの緊急・応急対応に従事します。



日本道路協会 道路功労者表彰伝達式

道路功労者表彰は、過去に日本道路建設業協会から技能社員表彰を受賞された方の中から各支部が本部に推薦し、日本道路協会において決定された方への表彰です。この表彰は、昭和26年度から道路整備事業の推進等にご尽力された団体及び個人に対するもので、毎年8月10日の「道の日」に合わせて表彰伝達式を実施しています。

今年は中部支部から5名の方が受賞され8月25日に伝達式を行いました。

表彰者の皆様、おめでとうございます。

【表彰者】 株式会社市川工務店 堀 浩一郎 様 鹿島道路株式会社 松橋 秀吉 様
岐建株式会社 臼井 明志 様 世紀東急工業株式会社 金城 明彦 様
鹿島道路株式会社 左高 正和 様

研修関係功労者感謝状贈呈式

中部地方整備局主催の基礎技術(舗装)研修に講師を派遣したことに對して、12月15日に中部技術事務所長から感謝状の贈呈がありました。



道建協の 社会・環境 貢献活動

令和4年度 道の駅 小型発電機の贈呈

地域防災計画に位置づけられた道の駅全てに発電機備わる

日本道路建設業協会は、国土交通省が推進する道の駅「第3ステージ」における道の駅の防災機能強化として、一般社団法人全国道の駅連絡会と連携し地域防災計画に位置付けられた道の駅に発電機保有率100%を目指し小型発電機を寄贈しています。

日本道路建設業協会中部支部ではこれまでに社会貢献活動として中部の道の駅に対して、平成20年度からA E D(自動体外式除細動器)を計15台、平成27年度からは小型発電機を計32台寄贈してきました。今年度は管内の10カ所の道の駅に小型発電機を贈呈し、中部地区の地域防災計画に位置づけら

れたすべての道の駅に発電機が備わりました。

贈呈にあたっては、自治体代表者、道の駅駅長、中部地方整備局事務所担当官の出席により各道の駅で贈呈しました。

贈呈を受けた設置者からは、安全安心なまちづくりに貢献をいただきましたなどのお礼の挨拶や感謝状を頂きました。



恵那市 感謝状

【令和4年度 贈呈道の駅】

■場 所／郡上市 白山文化の里長滝

■日 時／令和4年4月22日(金)

10:40~

■場 所／高山市 桜の郷荘川

■日 時／令和4年4月19日(火)

10:30~

■場 所／高山市 飛騨街道なごさ

■日 時／令和4年4月22日(金)

13:30~

■場 所／白川村 飛騨白山

■日 時／令和4年4月19日(火)

13:00~

■場 所／恵那市 上矢作ラ・フォーレ福寿の里

■日 時／令和4年5月11日(水)

10:00~

■場 所／白川村 白川郷

■日 時／令和4年4月19日(火)

14:10~

■場 所／恵那市 そばの郷らっせいみさと

■日 時／令和4年5月11日(水)

10:00~

■場 所／恵那市 おばあちゃん市・山岡

■日 時／令和4年5月11日(水)

10:00~

■場 所／富加町 半布里の郷とみか

■日 時／令和4年5月11日(水)

13:00~

■場 所／白川町 美濃白川

■日 時／令和4年5月12日(木)

14:00~

会員だより

ご安全に! (株)NIPPO 中部支店 営業部 木本 隆太郎

コロナウイルスが流行し始めて、もうすぐ3年になりますね。ここまでの長期にわたり続くと夢にも思わず、様々な人生のイベントで影響を受けた人も多いのではないのでしょうか。

私はコロナの影響で、東京オリンピックへの出場を逃し、いや(笑)聖火ランナーのランニングという記念すべきイベントを逃してしまいました。

コロナが出現する半年程前、たまたま眺めていた社内掲示板で聖火ランナーの募集を見つけました。当たるはずないよなあ、なんて思いながら応募してみるとまさかの当選!

正直あまり興味がなかったオリンピックへの期待度が急上昇した感覚を覚えています。

とても楽しみにしていましたが、感染急拡大により2020年の開催は延期、2021年はオリンピック開催となったものの、第3波、第4波の影響を受け嚴重な感染対策を行いながらの実施となりました。

当初は沿道が人で埋め尽くされた中で、ルート走行する予定でしたが、人の密集を避けるためランニングは中止となり、トーチキスというセレモニーに変更となりました。5m間隔に並んだ



木本 隆太郎

ランナーが隣のランナーに火を受け渡し、決めポーズをするというものでした。

私は地元広島で走行予定だったため、平和記念公園でのセレモニーに参加しました。会場は入場制限されており、観覧者は少なかったものの、多くのテレビカメラに圧倒されすっかり緊張気味に聖火の受け取り、受け渡しの際、それぞれオリジナルポーズで記念撮影、という流れでしたが、決めていたポーズをすっかり忘れ、ピースで決めてしまうという失態を犯しました(笑)

聖火の受け取り、受け渡しまではおよそ3分。2年間楽しみにしていた聖火ランナーの役目はあっという間に終了しました。

参加者のなかには、同じ障害をもつ人達に勇気を与えるために参加した人、被爆者で世界に平和の願いを届けるために参加した人、続く自然災害の被災者へ希望を届けるため参加した人など、それぞれのバックボーンがあり、そんなメンバーと交流出来たことは人生の大切な財産になりました。

コロナウイルスの終息は未だ見えませんが、感染対策をしながらイベントを楽しめる機会が増えて来たように感じます。もうしばらくの辛抱と思いながらウイルスと上手く付き合い、そのなかでも楽しみながら過ごしていきたいと思います。



編集後記

平成から令和へ元号が変わり5年目。新元号に故安倍元総理は『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ』との意味を込めたと説明されました。それから5年。その間には未だ収束しない新型コロナウイルスの流行、その影響で史上初めて延期された東京オリンピック。令和2年、3年の東京勤務のなか、期待していたオリンピックとはかけ離れていたことが記憶に新しい。

その後は同じく終息しないウクライナ侵攻。こちらもショッキングな出来事で、コロナ禍と同様に、世界中の経済に影響を与え続け、現地では多くの人が犠牲になっています。全世界的に需要過多で、インフレ傾向になっていたなかで起きた侵攻の影響は、食物価格、エネルギー価格等生活必需品の高騰を加速させ、原油価格は今年6月に120\$/バレル(前年同時期の1.6倍)の高値を付けました。原油価格の高騰は道路業界にとっても深刻で、特にアスファルト工場はアスファルトの価格高騰を販価に反映させることに苦慮しています。世界的に見ても人件費の上昇が鈍い日本で建設業の人件費は更に低水準です。政府主導で国民

の所得を上げようと試みていますが、原材料価格が高騰するため人件費も上げ辛い、人件費が上がらないと人材の確保も難しくなる、そんな悪循環に陥っているのが現状だと思います。業界としてはピンチです。しかしこのピンチを乗り越える、克服する手段は省人化を加速させ生産性を高めることが第一と答えが出ています。生産性向上の兆しは見え始めおり、今後はさらに業界全体で建設業の魅力を高め、建設業に携わる人々の待遇や生活水準の向上が次世代の人材確保にも直結すると思います。

さて、新しい年を迎えましたが、今年干支は卯(う)で、十干十二支では『癸卯(みずのと)』。十干の最後にあたる癸(みずのと)は、生命の終わりを意味するとともに次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しています。その組合せから『癸卯』はこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年と考えられているそうです。今年は世界が平和と安定を取り戻し、建設業界が成長し飛躍する年になりますように。

広報委員 上原

連絡先

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375
●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

各地でイベント開催

去年はコロナ対策が緩和され中部地方でも様々なイベント開催が復活しました



名古屋まつり



©Rally Japan

ラリージャパン2022



©Rally Japan



ぎふ信長まつり



一般社団法人
日本道路建設業協会中部支部